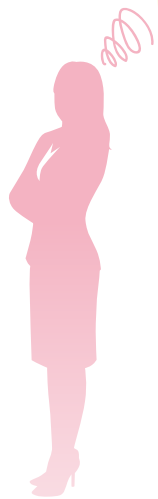


# 女性が抱える

# 健康問題とその予防

## 第14話

### 避妊や月経痛緩和で女性ホルモン剤の使用が急増！



日本家族計画協会が「第9回男女の生活と意識に関する調査」の結果を発表しました。2002年からスタートしたこの全国調査は、2016年の第8回調査以降7年ぶりとなりませんが、いくつかの特筆すべき点が明らかになりました。その一つが、避妊や月経痛緩和に効果を発揮する低用量の女性ホルモン剤の普及率が予想以上に増加していたことです（表）。

「いつも避妊している」「避妊したり、しなかったりしている」と回答した女性に、現在の避妊法（2つまで選択）を聞くと、いつものように男性用コンドームが86.4%と突出していますが、第2位が女性ホルモン剤（16.0%）、第3位が膣外射精（13.0%）と続きます。16年調査では、女性ホルモン剤4.2%、膣外射精19.5%でしたから、

この逆転現象については原因を追究する必要があります。なお、ここでいう「女性ホルモン剤」とは、質問紙では、「避妊を目的とした低用量ピル（OC）と月経困難症治療薬である低用量エストロゲン・プロゲステン製剤（LEP）のことをいう」とのただし書きが付記されています。

別の質問で、「OC/LEPを使いたいですか」と聞くと、47.4%が「使いたい」と回答しています。この数値は、7年前に比べて26ポイントも増加していました。さらに驚いたのは、「すでに使っている」が25.29歳の21.0%、35.39歳の18.3%で、全体では12.3%を数えていたことです。この数値は、2016年調査に比べて9.3ポイントも増えていることは注目値します。さらに、「OC/LEPを

使いたい」と思う最も大きな理由を1つだけあげてもらおうと、「月経痛緩和や貧血予防など副効用がある」が51.6%。これは前回調査に比べて12.6ポイントも増えていました。

OC/LEPがこの7年間に驚異的な普及率を打ち出したのはなぜでしょうか。最近では、OCがテレビCMに登場したり、オンラインを通じてOCやLEPを入手したりする女性が増えたことがあげられます。ただ心配なのは、ご自分が服用する薬に対して十分な理解をされているか、飲み忘れた際にはどのように対処するか、どんな症状が現れた時に服用を中止するかなどが十分に情報提供されているかです。女性のライフデザイン・ドラッグと呼ばれるOC/LEPが広く使われることは大歓迎ですが、とにかく安心・安



【執筆者】

北村 邦夫

きたむら くにお

日本家族計画協会 会長

自治医科大学を1期生として卒業後、群馬県庁に在籍する傍ら、群馬大学医学部産科婦人科学教室で臨床を学ぶ。1988年から日本家族計画協会クリニック所長。東京都市防医学協会理事、日本母性衛生学会名誉会員。2018年より現職。

表 「いつも避妊している」「避妊をしたり、しなかったりしている」人の現在の主な避妊法（2つまで選択）（女性）

年	2002	2004	2006	2008	2010	2012	2014	2016	2023
総数	490	471	461	406	411	310	262	261	169
男性用コンドーム	70.8	70.1	82.8	82.0	82.2	80.6	85.5	82.0	86.4
膣外射精法	15.1	16.8	17.0	13.3	18.7	17.4	16.0	19.5	13.0
オギノ式避妊法	3.7	3.0	3.2	3.4	3.6	5.2	6.1	7.3	3.0
女性ホルモン剤*	1.0	1.3	1.2	5.7	3.4	3.5	4.6	4.2	16.0
不妊手術（女性）	2.4	2.5	2.0	2.5	1.7	1.6	1.5	0.8	1.2
基礎体温法	4.3	4.7	3.7	1.2	2.2	1.6	3.1	1.9	0.6
子宮内避妊具	1.2	1.3	1.5	0.7	1.5	1.0	0.4	0.4	3.6
洗浄法	0.8	0.2	-	-	0.2	0.3	0.4	0.4	-
不妊手術（男性）	0.4	0.2	0.2	0.7	0.5	-	0.4	-	-
殺精子剤	-	0.2	0.2	0.5	0.2	-	-	-	-
女性用コンドーム	0.6	0.6	0.2	0.2	-	-	-	-	-
無回答	11.8	13.2	2.7	2.5	3.2	3.9	2.3	1.1	1.2

\*2016年以降はピルなど女性ホルモン剤について聞いている  
（日本家族計画協会：「男女の生活と意識に関する調査」2002,2004,2006,2008,2010,2012,2014,2016,2023）

全に服用できるようにしたいものです。左記の相談室は、避妊を目的にしたものですが、どうぞ気軽にお電話をおかけください。

「避妊のためのピル&アフターピル相談室」\*  
（祭日と年末年始を除く月曜日から金曜日、10時から16時、03-3460-4112）

\*日本家族計画協会の相談員が対応